

2025年6月

# アジア・パシフィック経済マンスリー

第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 阿原 健一郎 (TEL : 050-5470-4868)

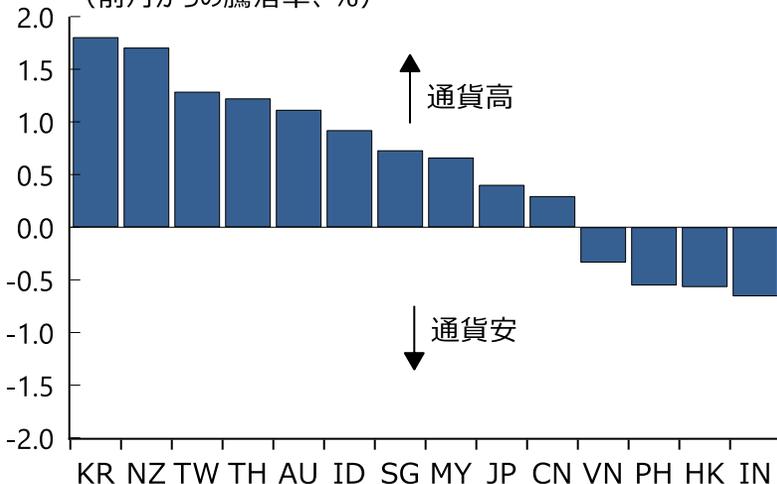


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任を負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

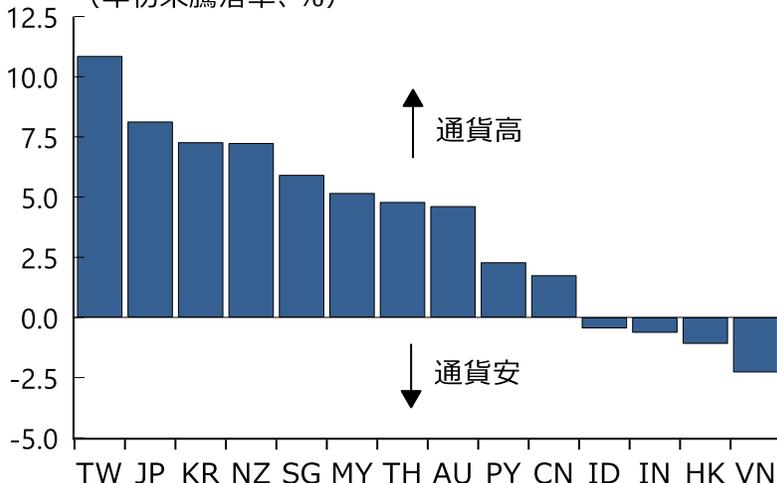
# 金融市場サマリー

## 為替

(前月からの騰落率、%)

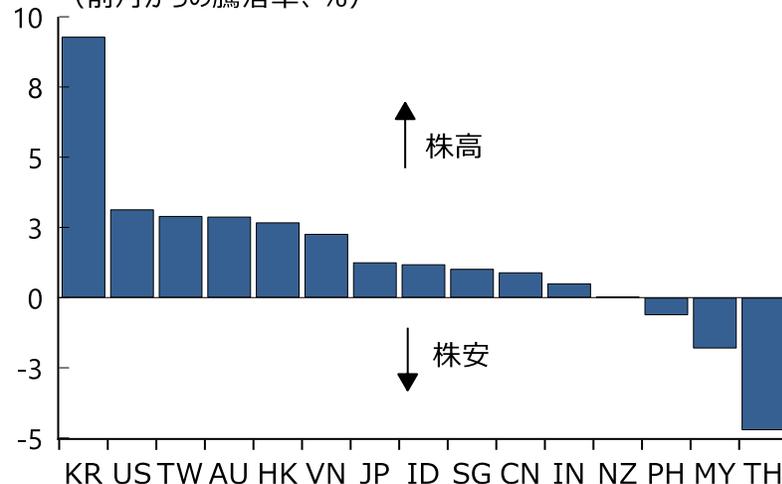


(年初来騰落率、%)

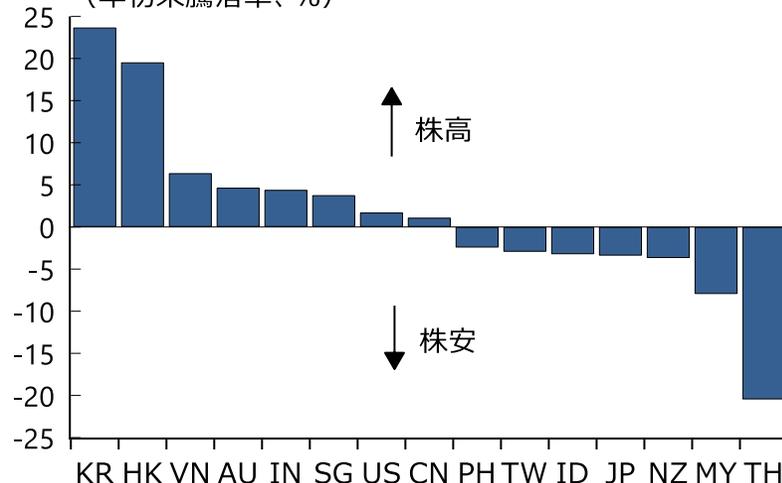


## 株価

(前月からの騰落率、%)

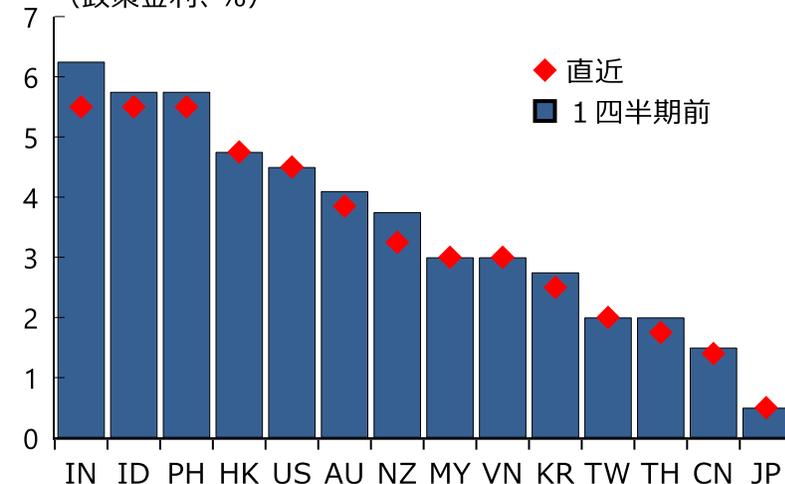


(年初来騰落率、%)



## 政策金利

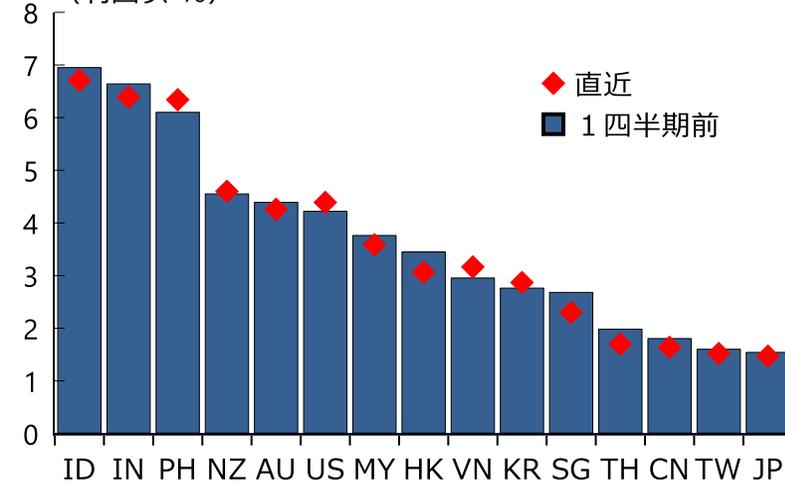
(政策金利、%)



(注) 直近は6/17日時点。

## 10年国債利回り

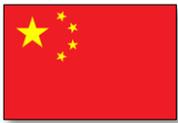
(利回り、%)



(注) 直近は6/17日時点。

(注) 前月からの騰落率は5月平均と6/17日までの6月平均との比較、年初来騰落率は2024年終値と6/17日終値との比較。  
 為替は対米ドルの名目為替レート、株価は各国の主要株価指数。各国コードは、AU=オーストラリア、CN=中国、HK=香港、IN=インド、ID=インドネシア、JP=日本、KR=韓国、  
 MY=マレーシア、NZ=ニュージーランド、PH=フィリピン、SG=シンガポール、TW=台湾、TH=タイ、US=米国、VN=ベトナム。

(出所) Macrobondより第一生命経済研究所作成



# 中国

## ■ PMIは再び縮小

5月の財新製造業PMIは48.3と、前月(50.4)から縮小に転じた。不動産不況の長期化が生産活動の縮小に影響していると考えられる。

## ■ インフレ率は引き続きマイナスで推移

5月の総合CPIは前年比▲0.1%と、前月(同▲0.1%)から横ばいで推移。食料価格がプラス寄与が縮小した。コアCPIも同+0.6%と前月(同+0.5%)からは小幅な加速にとどまっている。

## ■ 小売りは拡大、不動産は引き続き縮小

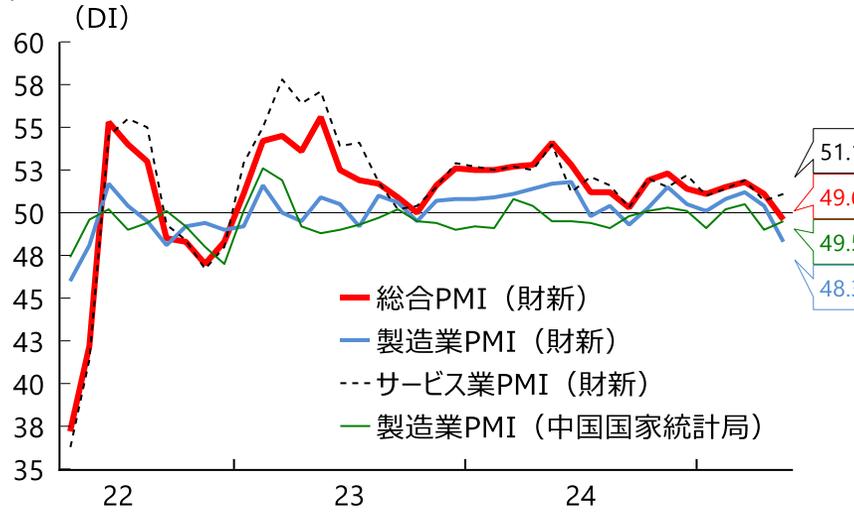
5月の小売売上高は前年比+6.4%と、前月(同+5.1%)から拡大。政府の買い替え補助金により家電等の消費が増加した模様。不動産販売は同▲3.6%と、前月(同▲3.4%)に続き縮小。

## ■ 輸出は米国が大きく減少、EUが増加

5月の輸出は前年比+4.5%と、前月(同+7.9%)に続き増加するも、増加ペースは鈍化。仕向け地別では、高関税が課された米国向けが同▲34.5%と、前月(同▲21.0%)に続き大きく減少した一方、ASEAN向けが同+14.8%、EU向けが同+12.0%と輸出が増加した。

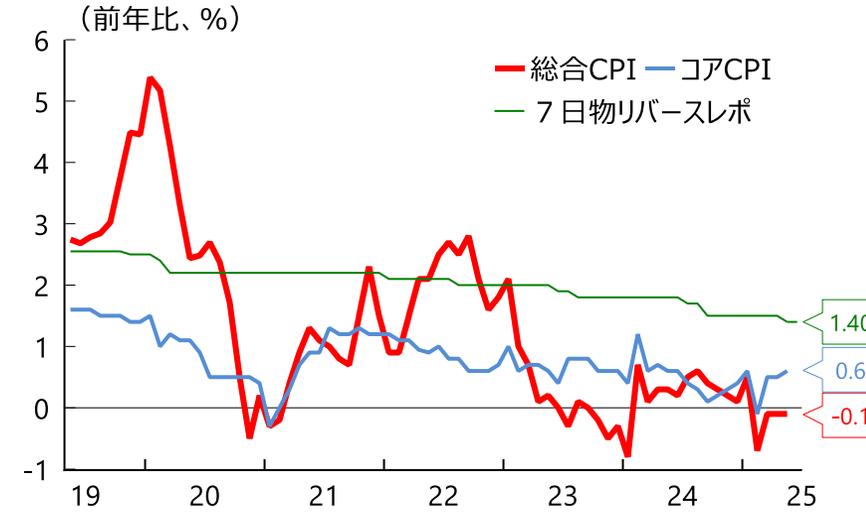
(出所) Macrobond、S&P Globalより第一生命経済研究所作成

## PMI



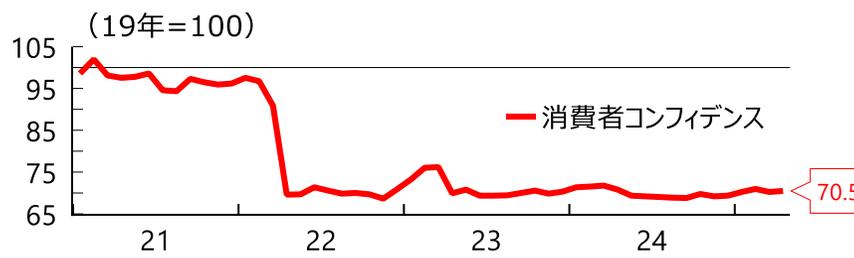
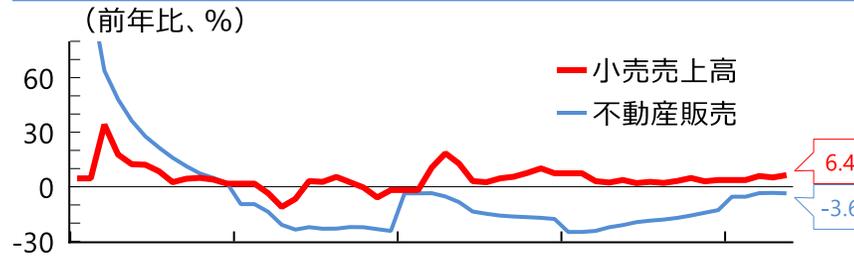
(注) 直近は5月。

## インフレ率と主要政策金利



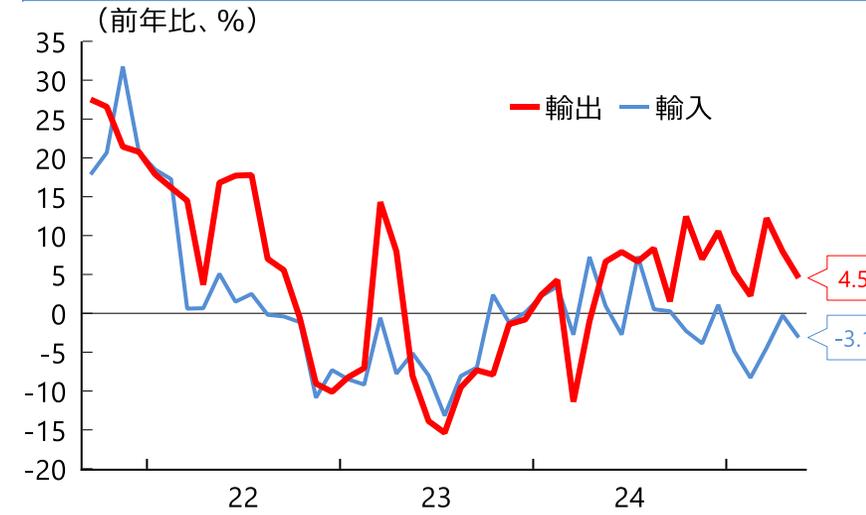
(注) 直近は7日物リバースレポが6/17日、その他が5月。

## 消費



(注) 直近は5月。不動産販売は面積ベース。

## 輸出入



(注) 直近は5月。米ドル建ての輸出入額。



# インド

## ■ PMIは引き続き拡大

5月の総合PMIは59.3と、前月（59.7）から幾分鈍化したものの引き続き拡大。製造業PMIは57.6と、新規受注指数、生産指数等の鈍化がヘッドラインを押し下げた。

## ■ インフレ率は低下、RBIは大幅利下げ

5月の総合CPIは前年比+2.8%と、前月（同+3.2%）に続き鈍化。野菜を中心に食料価格が低下し、ヘッドラインを押し下げた。6月6日、インド準備銀行は利下げを決定（▲50bps、6.00%→5.50%）。利下げは市場予想通りだったものの、利下げ幅は市場予想を上回った。「厳しい世界情勢と高まる不確実性のなかで、経済成長は我々の期待を下回っている」と景気下支えの対応を取った。先行きは、立て続けに利下げしたことで金融政策の余地が限られているとして、政策スタンスを「緩和的」から「中立的」に変更。

## ■ 消費は増加の兆し

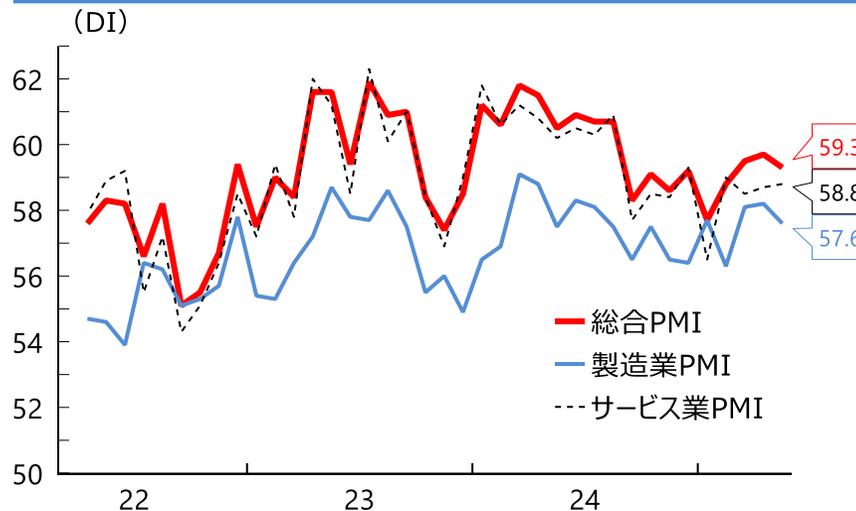
5月の自動車販売台数は前年比+5.1%と、前月（同+3.0%）に続き増加。石油製品消費量も同+1.1%と、前月（同+0.0%）から増加に転じた。

## ■ 鉱工業生産は引き続き増加

4月の鉱工業生産は前年比+2.7%と、前月（同+3.9%）から引き続き増加。

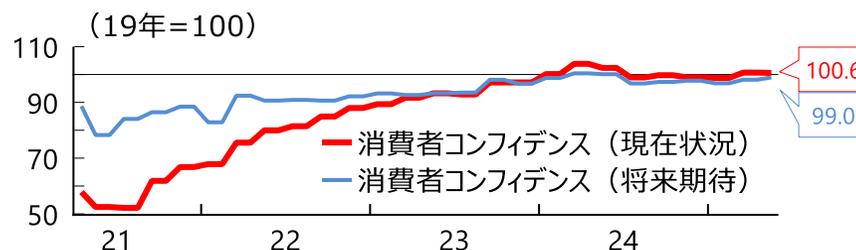
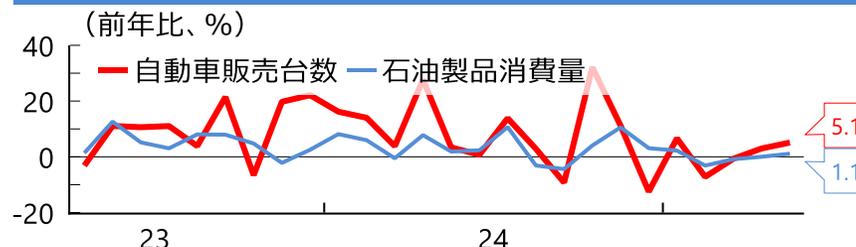
（出所） Macrobond、S&P Globalより第一生命経済研究所作成

## PMI



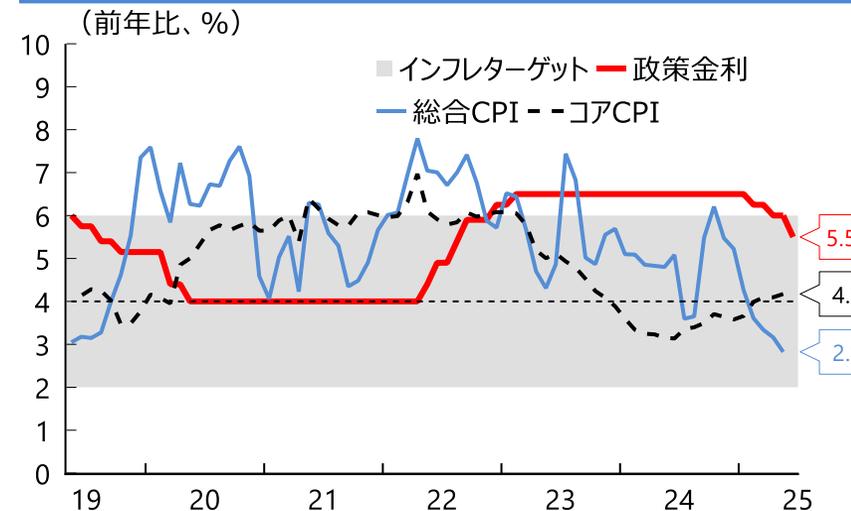
（注）直近は5月。

## 消費



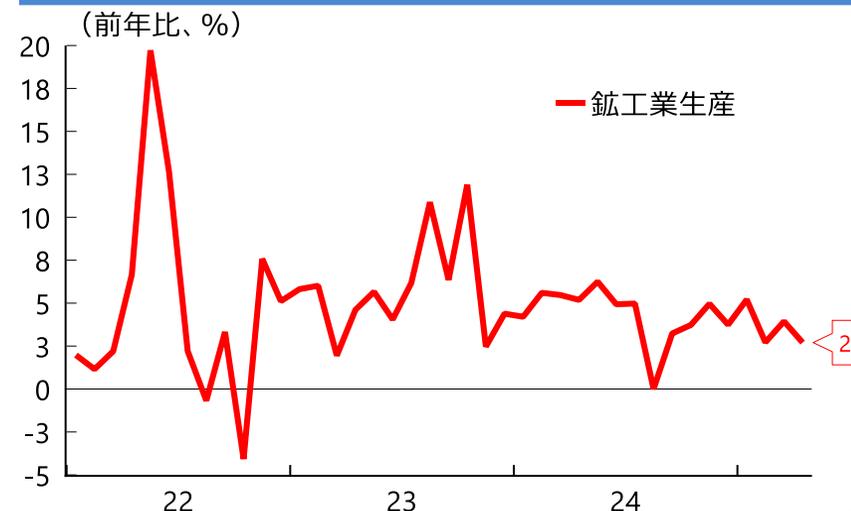
（注）直近は5月。自動車販売台数は二輪車などを含む。

## インフレ率と政策金利



（注）直近は政策金利が6/17日、その他が5月。

## 鉱工業生産



（注）直近は4月。



# 韓国

## ■ PMIは引き続き縮小

5月の製造業PMIは47.7と、前月(47.5)に続き縮小。内需や米国の関税引き上げの影響から、新規受注指数が悪化。

## ■ BOKは経済減速に備え利下げ

5月の総合CPIは前年比+1.9%と、前月(同+2.1%)から鈍化。ガソリン価格を中心とした輸送費のマイナス寄与が拡大。5月29日、韓国銀行は利下げを決定(▲25bps、2.75%→2.50%)。利下げは市場予想通り。「インフレ率は概ね安定する一方、経済成長率は大きく減速すると予想される」として、景気下支えの対応を取った。

## ■ 消費者コンフィデンスは上昇

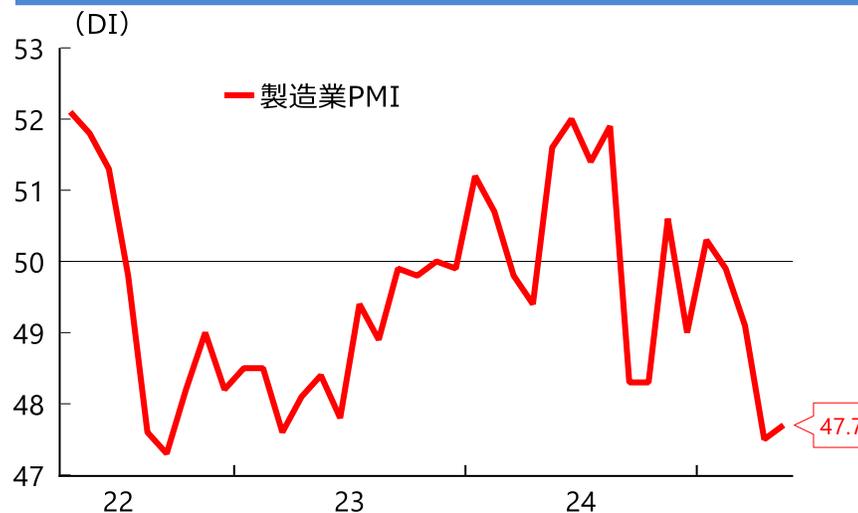
4月の小売売上高、サービス業売上高はともに前月から減少。5月の消費者コンフィデンスは大きく上昇。足もとの金利低下や、6月に発足する新政権への期待などを反映した模様。

## ■ 輸出は減少

5月の輸出は前年比▲1.3%と、前月(同+3.5%)から減少に転じた。主要品目である半導体が同+21.2%と増加したものの、自動車や機械等が減少。仕向け地別では、米国向けが同▲8.1%と減少。

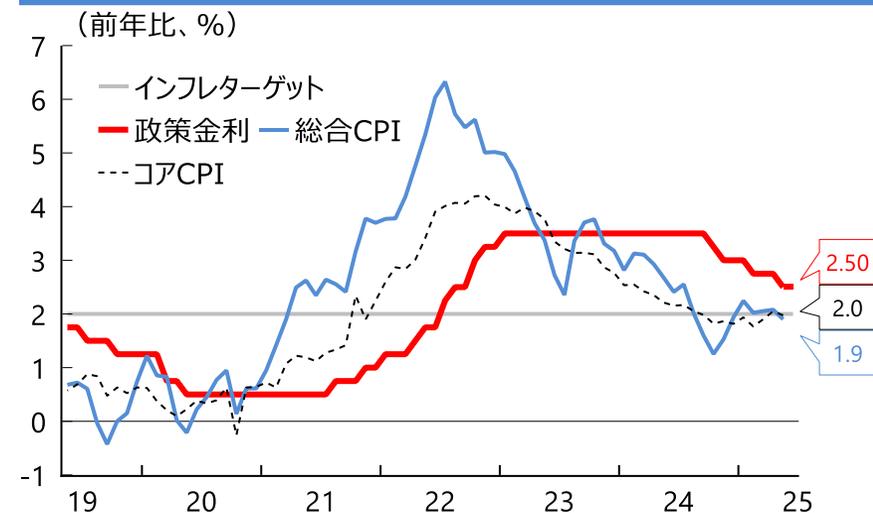
(出所) Macrobond、S&P Globalより第一生命経済研究所作成

## PMI



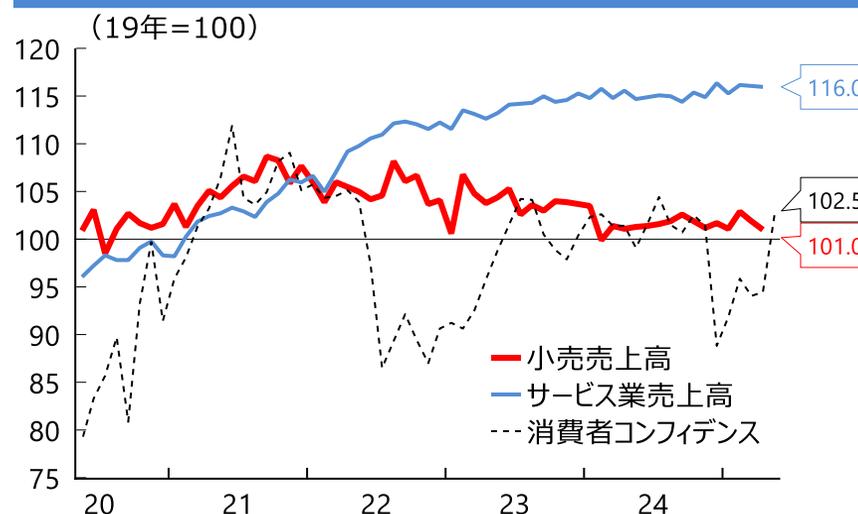
(注) 直近は5月。

## インフレ率と政策金利



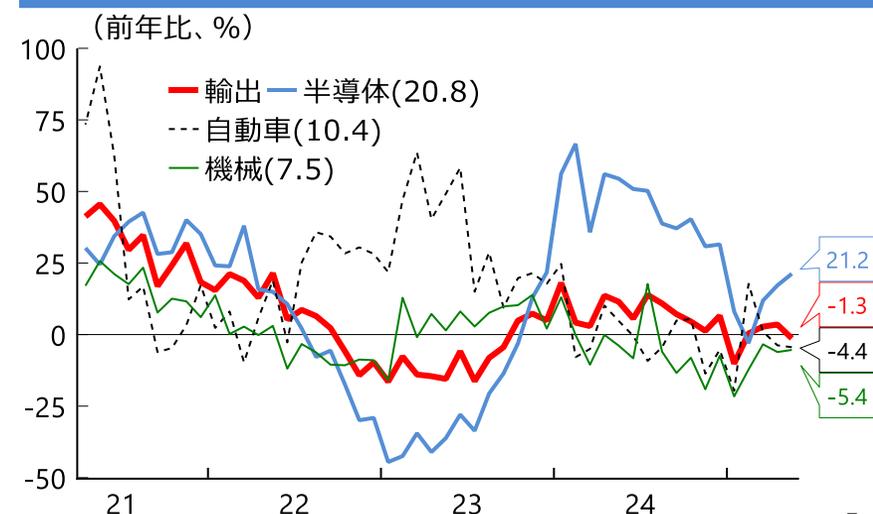
(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が5月。

## 消費



(注) 直近は消費者コンフィデンスが5月、その他は4月。

## 輸出



(注) 直近は5月。米ドル建ての輸出額。( )内は24年輸出額に占める割合。

## ■ PMIは再び拡大

5月の製造業PMIは51.0と、前月(48.9)から再び拡大に転じた。エレクトロニクス部門は55.8と、前月(54.1)から拡大ペースが加速。

## ■ インフレ率は食料を中心に鈍化

5月の総合CPIは前年比+1.5%と、前月(同+2.0%)から伸びが鈍化。食料価格が低下し、総合CPIを押し下げた。

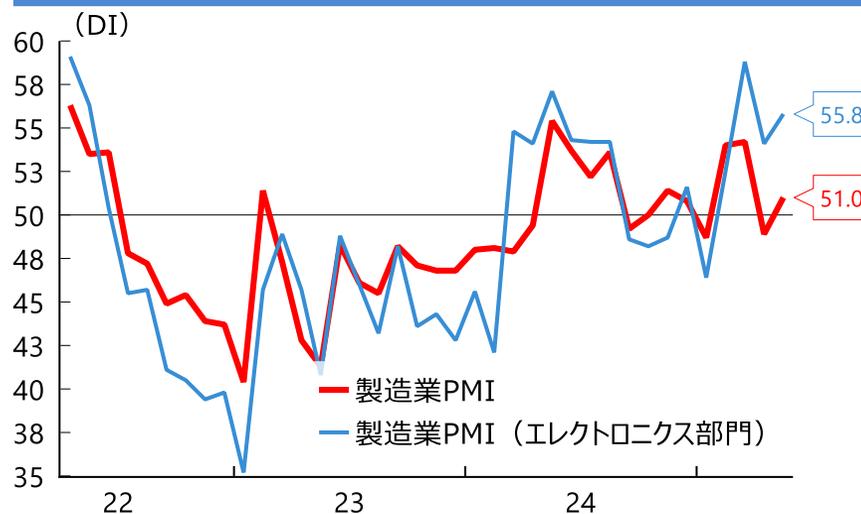
## ■ 消費は減少ペースが鈍化

4月の実質小売売上高は前年比▲2.6%と、前月(同▲2.1%)に続き減少。自動車やオートバイ、家電を中心に販売が減少した模様。

## ■ 輸出受注は引き続き増加

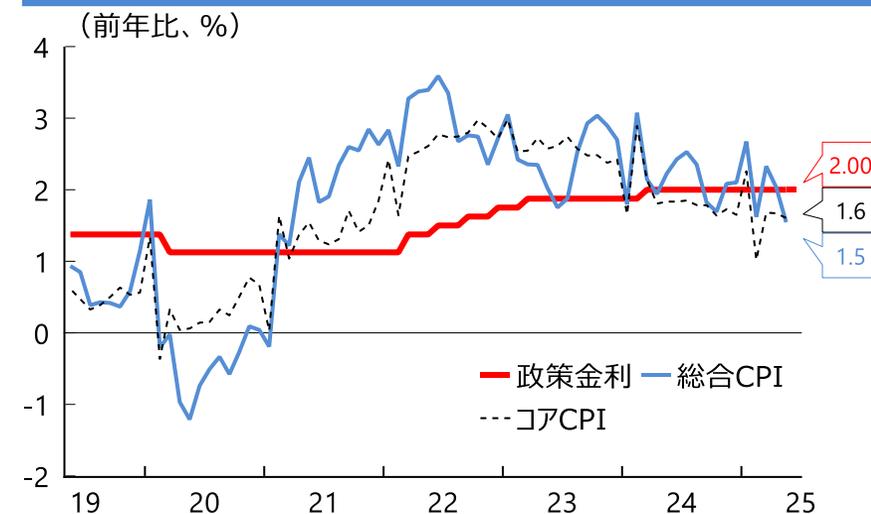
4月の輸出受注は前年比+19.8%と、前月(同+12.5%)に続き増加。電子製品は同+35.0%と明確に増加した。受注先で見ると、米国が同+30.3%、ASEANが同+32.8%と大きく増加したほか、欧州が同+10.5%、中国が同+5.7%と前月から増加に転じた。

### PMI



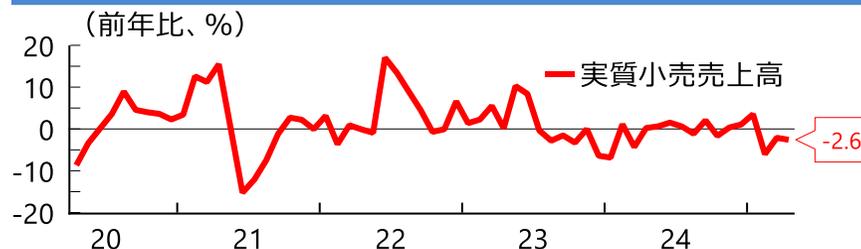
(注) 直近は5月。国家発展委員会の公表値。

### インフレ率と政策金利



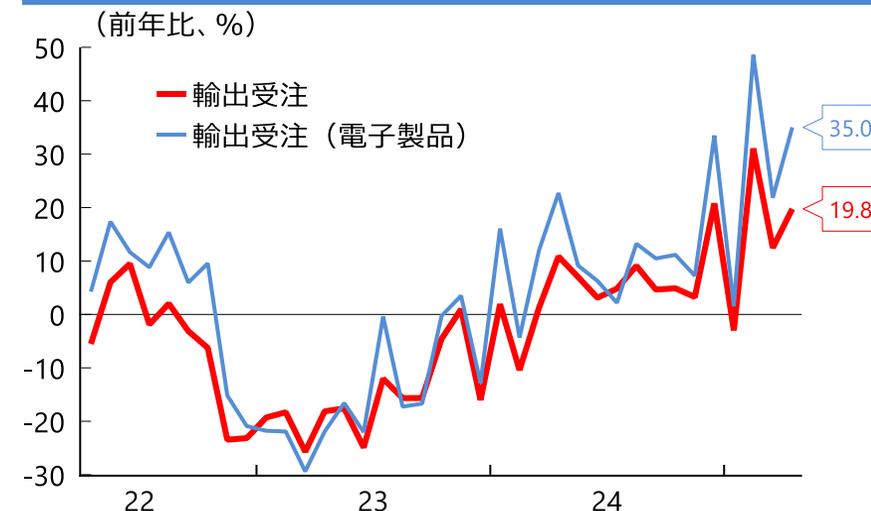
(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が5月。

### 国内消費



(注) 直近は小売売上高が4月、消費者コンフィデンスが5月。

### 輸出受注



(注) 直近は4月。米ドル建ての輸出受注額。

## ■ PMIは縮小ペースが鈍化

5月の総合PMIは49.0と、前月(48.3)から縮小ペースが鈍化。5月は中国本土向けの売上げが堅調に推移し、生産指数の縮小ペースが鈍化した模様。

## ■ インフレ率は伸びが加速

4月の総合CPIは前年比+2.0%と、前月(同+1.4%)から伸びが加速。住居費のマイナス寄与が縮小するもと、ガソリン等の輸送費のプラス寄与が拡大した。

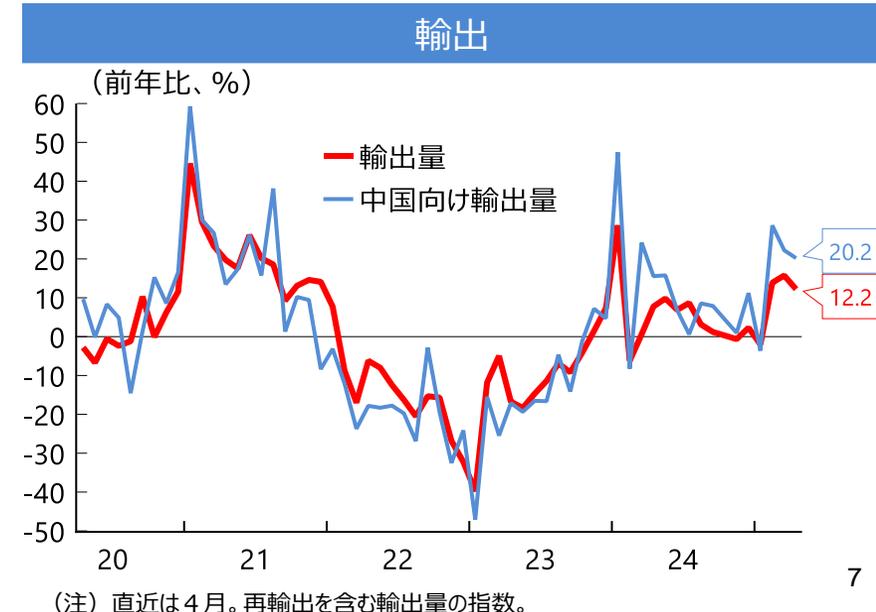
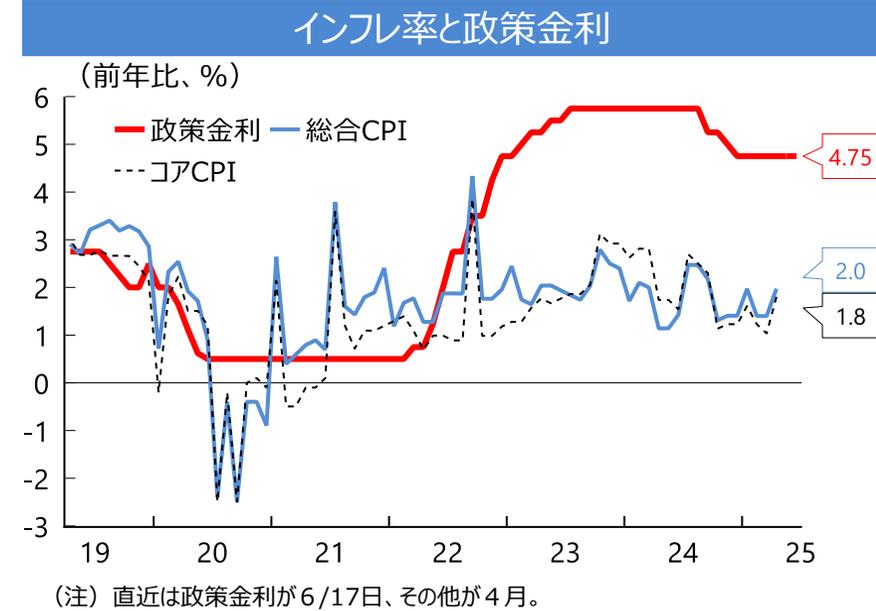
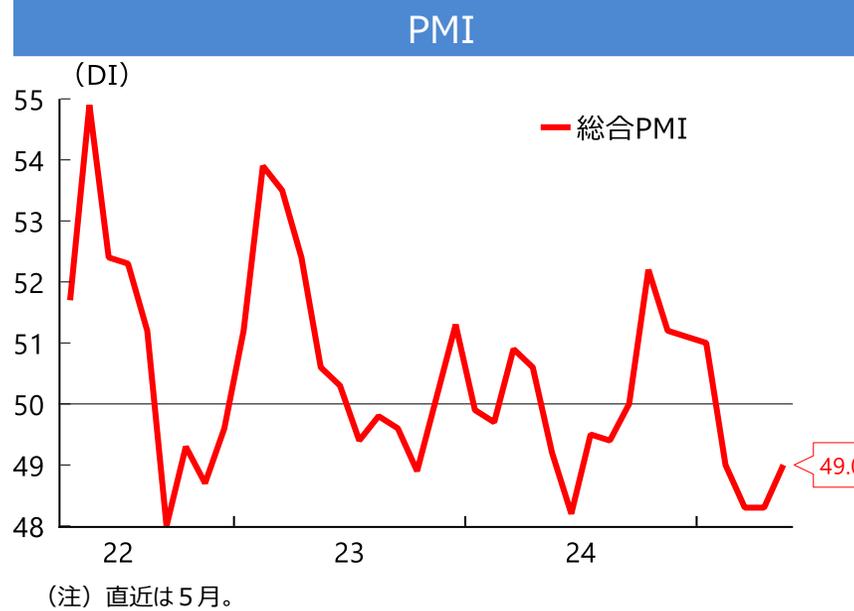
## ■ 消費は引き続き減少

4月の小売売上高は前年比▲3.2%と、前月(同▲4.7%)に続き減少。かねてからの国境を越えた中国本土での消費増加等により、国内消費の減少が続いている。もっとも、当局によれば、今年は4月中旬のイースター休暇(前年は3月末～4月初)で海外旅行をする居住者が多かったが、小売売上高は小幅な減少にとどまっており、国内消費に安定の兆しが見えるとしている。

## ■ 輸出は引き続き増加

4月の輸出は前年比+12.2%と、前月(同+15.7%)に続き増加。仕向け地別では、ベトナム向けや中国向け等を中心に、輸出が増加。

(出所) Macrobond、S&P Globalより第一生命経済研究所作成





# シンガポール

## ■ PMIは縮小ペースがわずかに鈍化

5月の製造業PMIは49.7と、前月(49.6)から縮小ペースがわずかに鈍化。エレクトロニクス部門も49.9と、前月(49.8)から縮小ペースが鈍化した。米国の関税引き上げの一時停止を受けて、新規受注指数や雇用指数がわずかに改善した模様。

## ■ 政策為替レートは足もと増価

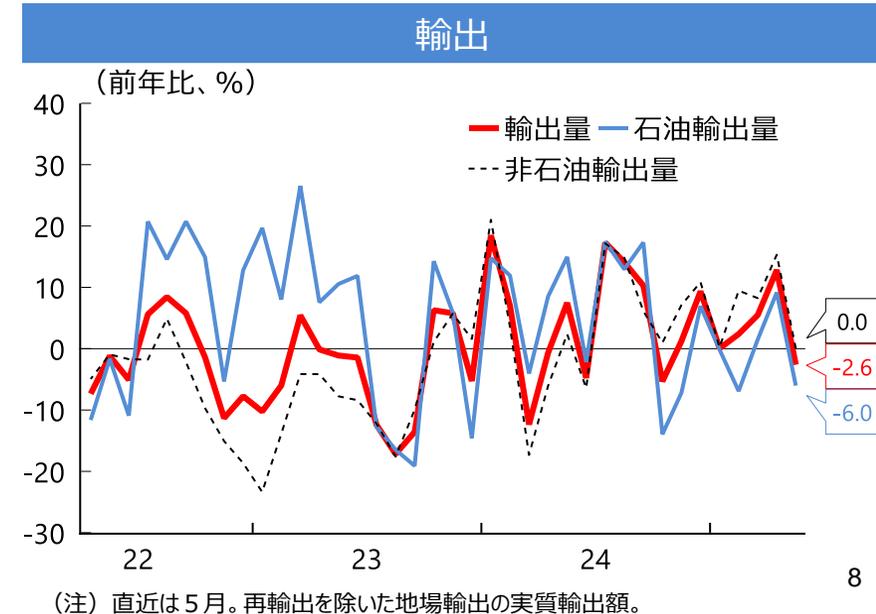
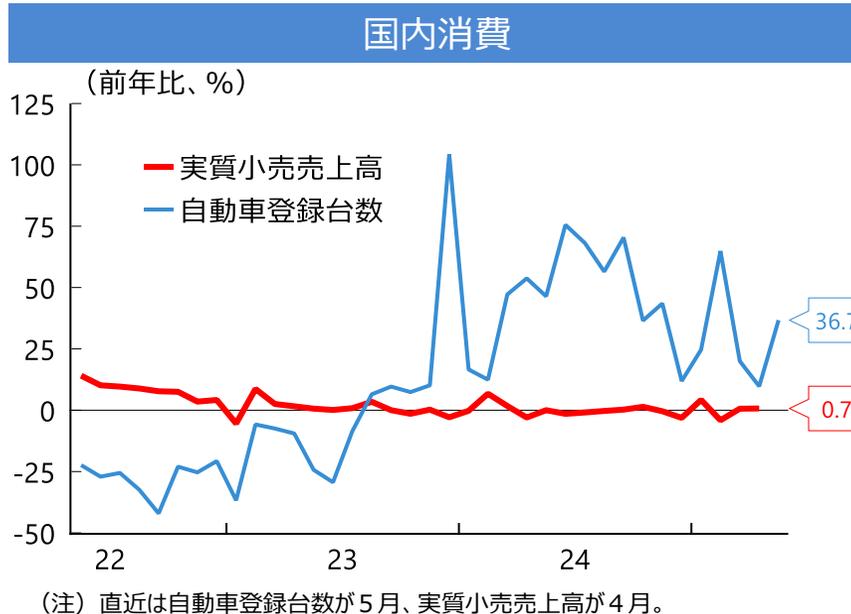
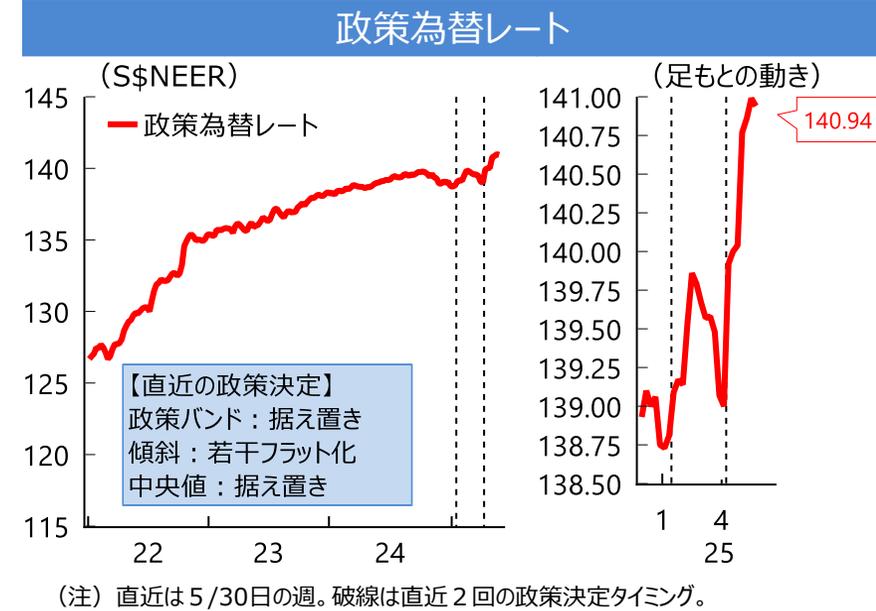
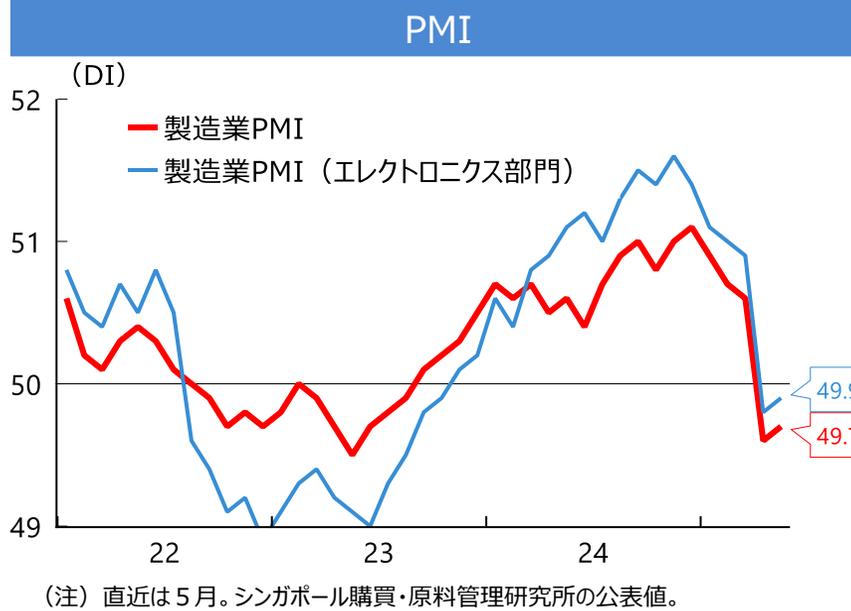
直近(4月14日)では、MASは政策為替レートS\$NEERの誘導目標について、傾斜を若干フラット化。足もとでは、政策為替レートは140.94で推移。

## ■ 小売売上は再び増加に転じる

4月の実質小売売上高は前年比+0.7%と、前月(同+0.6%)に続き増加。自動車登録台数は同+36.7%と引き続き増加。EVへの税の優遇措置やCOE(車両割当証明)発行数増加等により、EVを中心に販売が伸びた様子。

## ■ 輸出は減少に転じる

5月の輸出は前年比▲2.6%と、前月(同+12.8%)から減少に転じた。仕向け地では、米国向けが同+21.0%と、前月(同+48.2%)から鈍化した。





# インドネシア

## PMIは引き続き縮小

5月の製造業PMIは47.4と、前月（46.7）に引き続き縮小。雇用指数が拡大に転じたものの、生産指数などが引き続き縮小した。

## BIは4か月ぶりの利下げ

5月の総合CPIは前年比+1.6%と、前月（同+1.9%）から小幅に鈍化。食料価格の伸びが鈍化し、総合CPIを押し下げた。

5月21日、インドネシア銀行（BI）は利下げを決定（▲25bps、5.75%→5.50%）。利下げは市場予想通り。「目標範囲内で低く抑えられたインフレが予測されていること、および経済ファンダメンタルズに沿ってルピア為替レートの安定を維持し、経済成長を促進する」とした。

また、6月18日、BIは政策金利の据え置きを決定（5.50%）。「為替レートの安定を維持しながら、経済成長を促進するため」とし、世界経済の不確実性の行方を注視する姿勢を取った。

## 消費は祝祭の反動減で一時的に減少

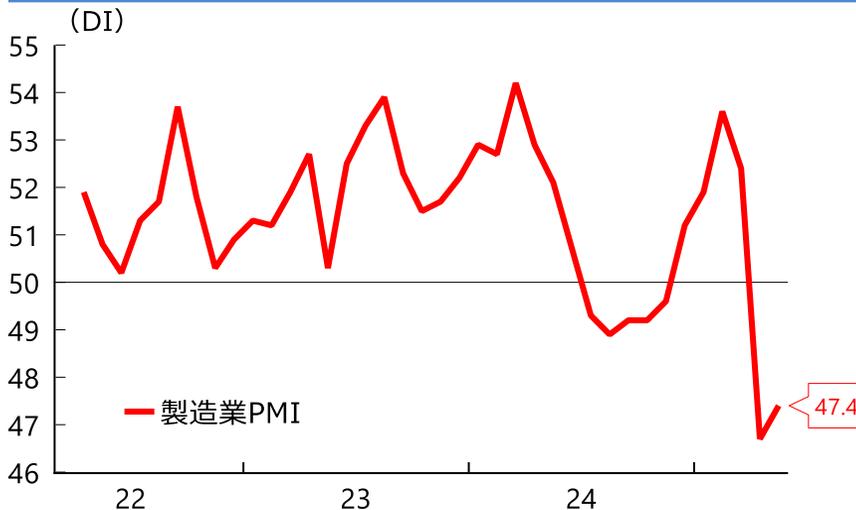
4月の小売売上高は前年比▲0.3%と、前月（同+5.5%）から減少に転じた。4月は、3月中のラマダンやレバランによる消費増加の反動減が影響した。5月の中銀予測値は同+2.6%と、回復基調に転じている。

## 輸出は引き続き増加

4月の輸出は前年比+5.8%と、前月（同+3.1%）に続き増加。仕向け地別では、米国向け輸出が引き続き増加するもと、欧州、ASEAN諸国向け輸出の増加ペースが加速。

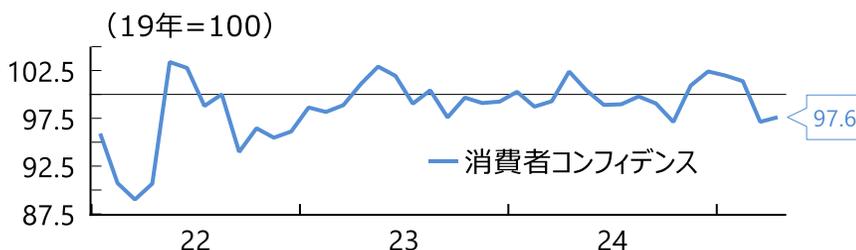
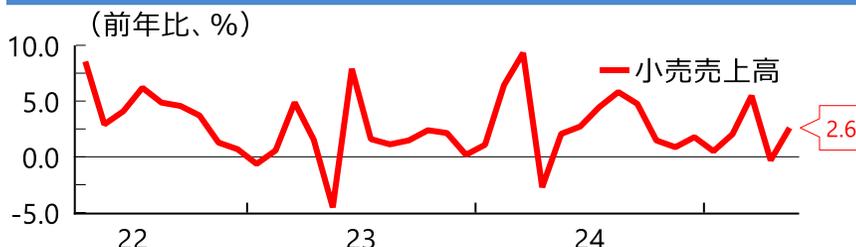
(出所) Macrobond、S&P Globalより第一生命経済研究所作成

## PMI



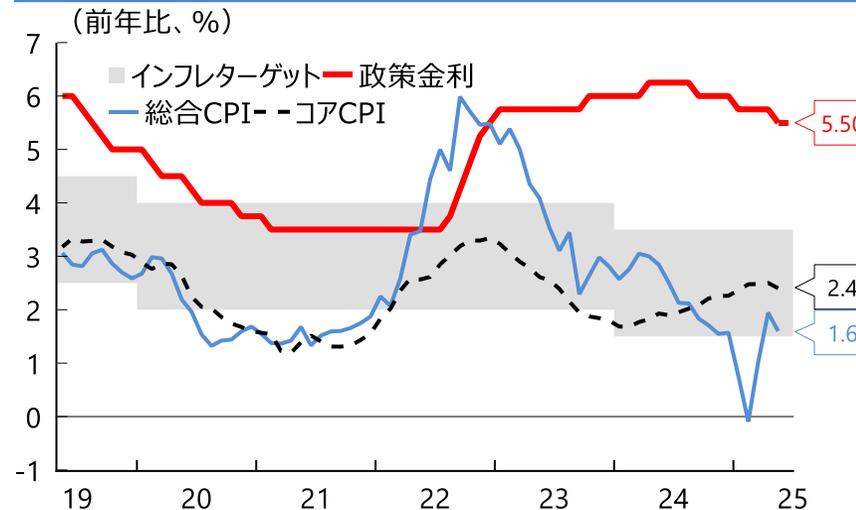
(注) 直近は5月。

## 国内消費



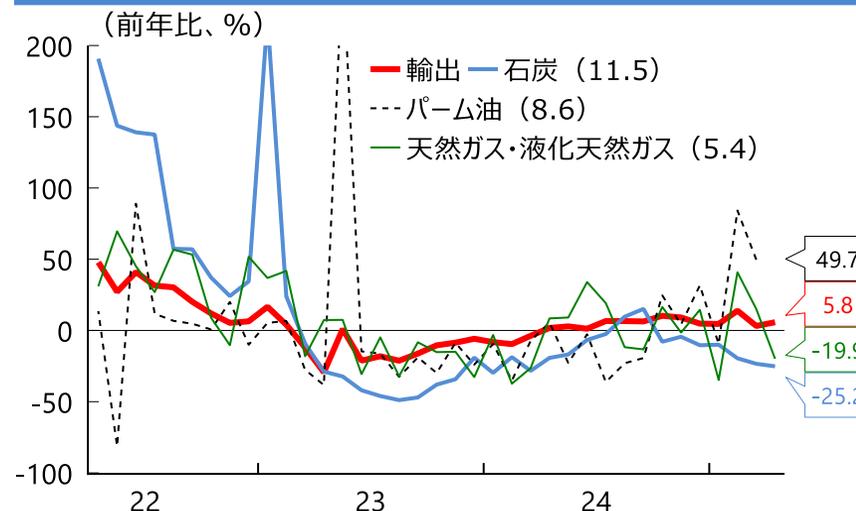
(注) 直近は5月。小売売上高の直近値は中銀予測値。

## インフレ率と政策金利



(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が5月。

## 輸出



(注) 直近は輸出、石炭が4月、その他は3月。( )内は24年輸出額に占める割合。



# タイ

## ■ PMIは再び拡大

5月の製造業PMIは51.2と、前月(49.5)から拡大に転じた。新規受注指数が拡大に転じるもと、生産指数の拡大ペースが加速し、ヘッドラインを押し上げた。

## ■ インフレ率は引き続きマイナスで推移

5月の総合CPIは前年比▲0.6%と、前月(同▲0.2%)からデフレが加速。ガソリン等の輸送費の価格低下が総合CPIを押し下げた。

## ■ 自動車販売は2年ぶりに増加

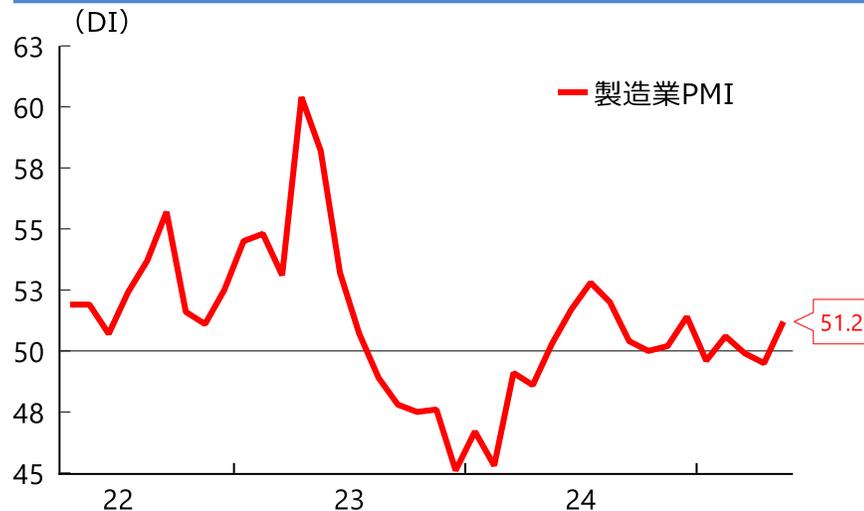
3月の小売売上高は前年比+31.9%と、前月(同+25.2%)に続き増加。4月の自動車販売は同+1.0%と、約2年ぶりに増加に転じた。3月末から開催されたバンコク国際モーターショーでの販促等により、中国メーカーを中心にBEVの販売が増加した。

## ■ 外国人観光客数は引き続き減少

外国人観光客数は5月単月で約227万人、前年比▲13.9%の減少となった。中国からの観光客数が同▲44.5%と、前月(▲46.7%)に続き大きく減少した。タイ中銀は、6月11日公表の金融政策レポートで、中国人観光客の減少を背景として25年、26年見通しを下方修正(25年は、米国の関税が低率の場合：3,750万人、高率の場合：3,700万人)。

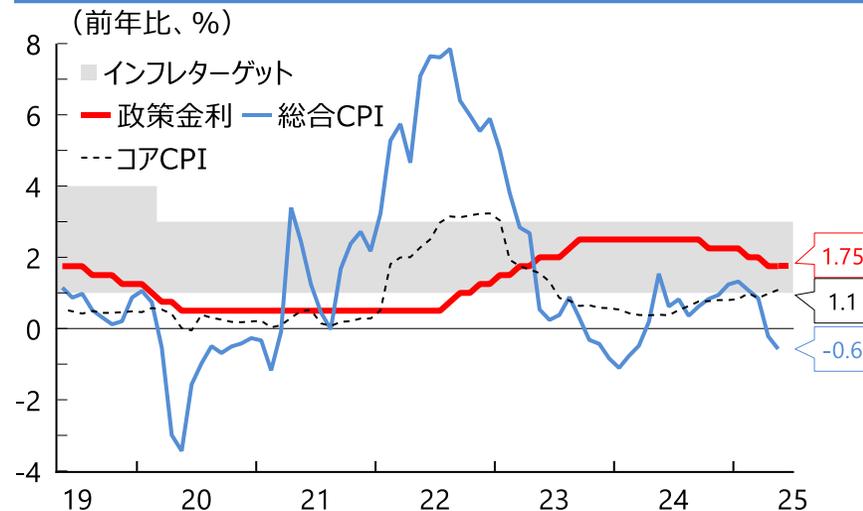
(出所) Macrobond、S&P Globalより第一生命経済研究所作成

## PMI



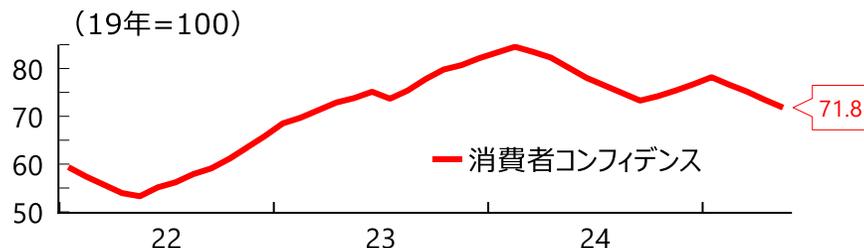
(注) 直近は5月。

## インフレ率と政策金利



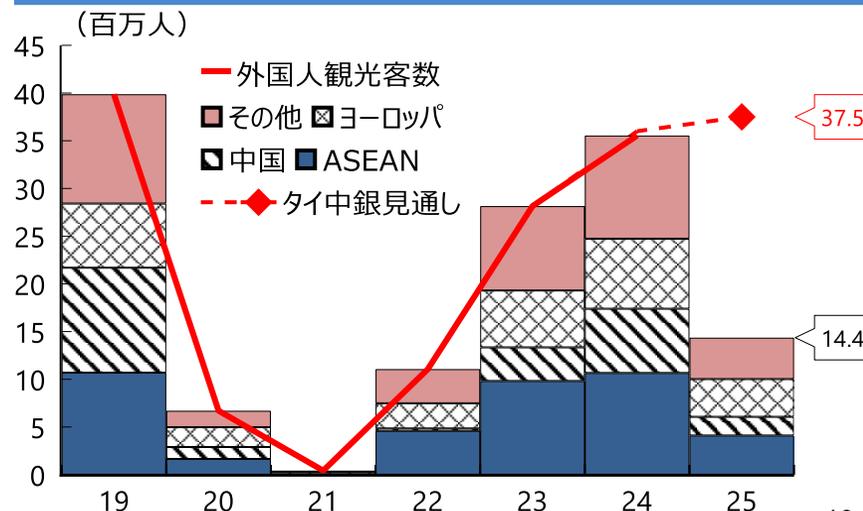
(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が5月。

## 国内消費



(注) 直近は小売売上高が3月、新車販売台数が4月、消費者コンフィデンスが5月。

## 外国人観光客数



(注) 25年は5月時点実績。タイ中銀見通しは、米国関税が低率のシナリオの数値。



# フィリピン

## ■ PMIは拡大ペースが鈍化

5月の総合PMIは50.1と、前月（53.0）から拡大ペースが鈍化。生産指数が縮小に転じ、新規受注指数の拡大ペースが鈍化し、ヘッドラインを押し下げた。

## ■ インフレ率は引き続き鈍化

5月の総合CPIは前年比+1.3%と、前月（同+1.4%）から伸びがわずかに鈍化、引き続き目標レンジを下回って推移。輸送費が低下するもと、食料価格の伸びが鈍化し、総合CPIを押し下げた。コアCPIは同+2.2%と、前月（同+2.2%）から横ばいで推移。

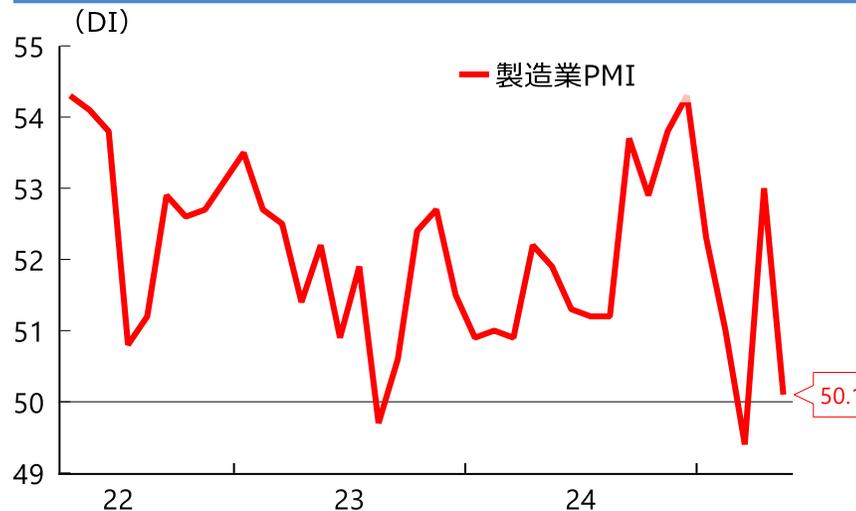
## ■ 新車販売台数は約3年ぶりに前年割れ

4月の新車販売台数は前年比▲10.0%と、3年2か月ぶりに減少に転じた。4月は前年と比較して祝日が多く、営業日数が少なかったこと等も影響した模様。

## ■ 輸出は引き続き増加

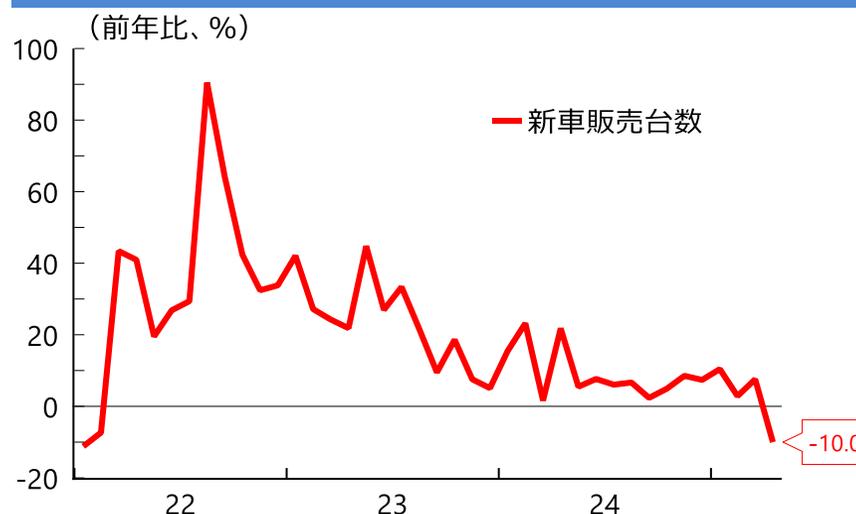
4月の輸出は前年比+7.0%と、前月（同+8.7%）に続き増加。主要品目である電気・電子製品が減少したものの、機械類・輸送用機器が増加した。仕向け地別では、中国向け輸出が同▲1.7%と引き続き減少。

## PMI



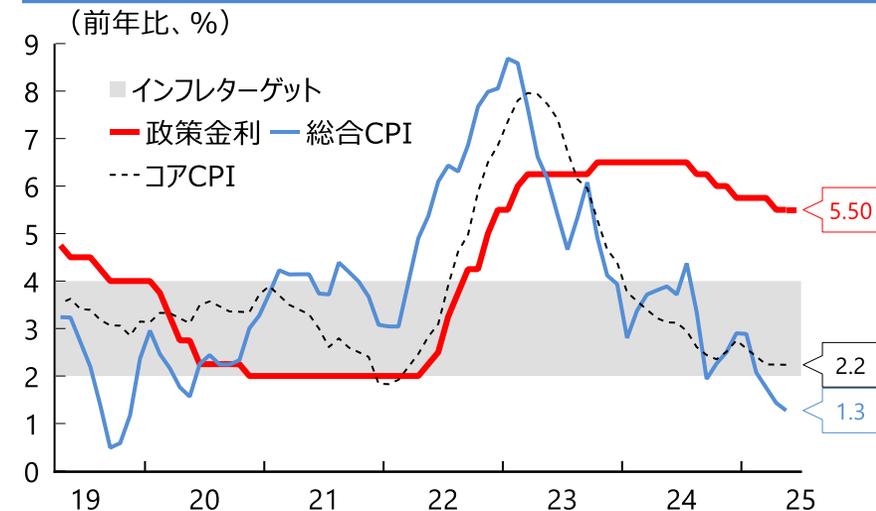
(注) 直近は5月。

## 国内消費



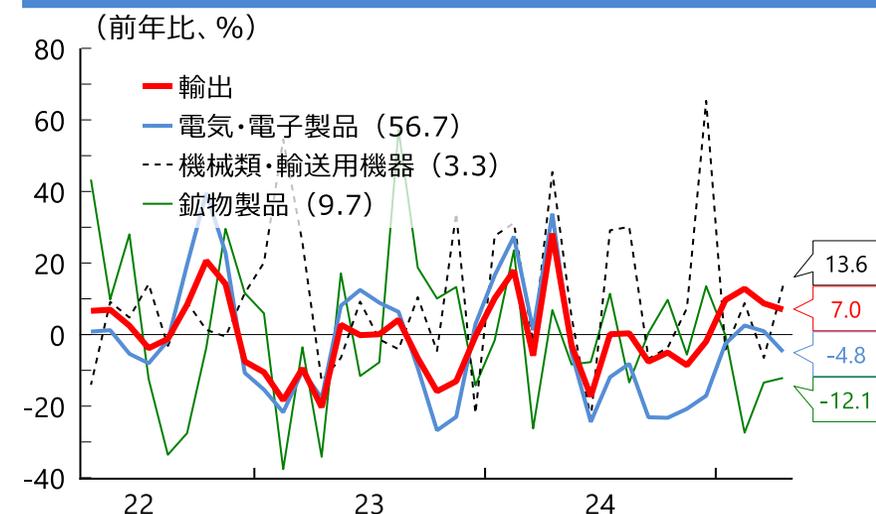
(注) 直近は4月。

## インフレ率と政策金利



(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が5月。

## 輸出



(注) 直近は4月。()内は24年輸出額に占める割合。



# マレーシア

## ■ PMIは縮小ペースが幾分鈍化

5月の製造業PMIは48.8と、前月(48.6)から縮小ペースが幾分鈍化。雇用指数が節目の50.0まで改善したが、生産指数や新規受注指数が引き続き縮小した。

## ■ インフレ率は横ばいで推移

4月の総合CPIは前年比+1.4%と、前月(同+1.4%)から横ばいで推移。情報通信費のマイナス寄与が縮小した一方、食料価格のプラス寄与が縮小した。コアCPIは同+2.0%と、前月(同+1.9%)からわずかに加速。

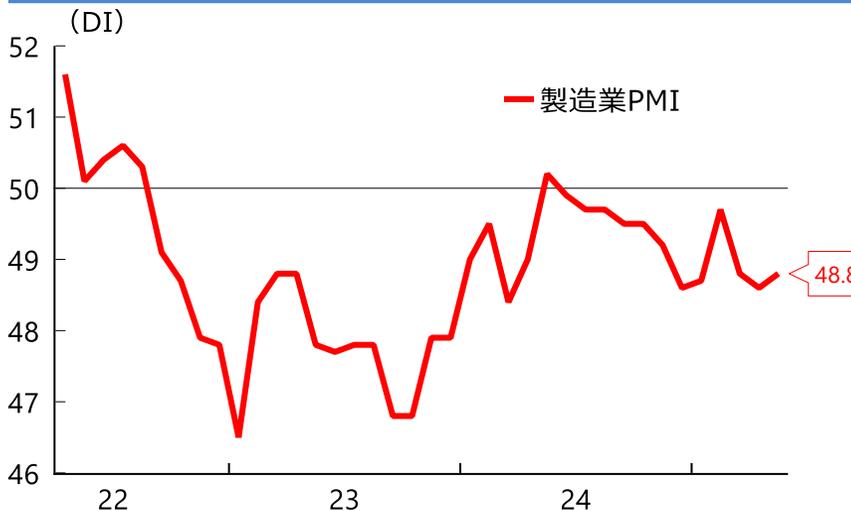
## ■ 消費は増加ペースが鈍化

4月の小売売上高は前年比+3.4%と、前月(同+4.9%)に続き増加。新車販売台数も同+1.0%と、前月(同+2.1%)から増加ペースが鈍化した。ハリヤの祝日の販促活動等で販売台数が増加した反動減とみられる。

## ■ 輸出は引き続き増加

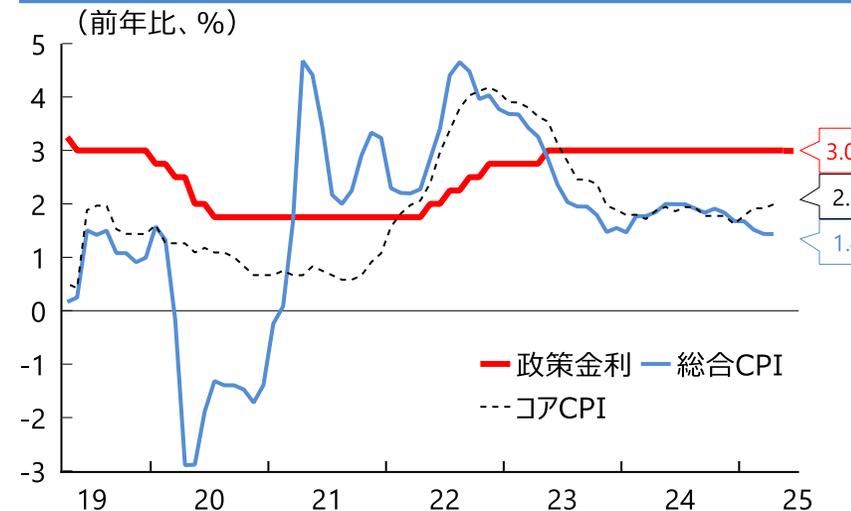
4月の輸出は前年比+16.4%と、前月(同+6.8%)から増加ペースが加速。主要品目である機械類・電気機器が輸出を牽引した。

### PMI



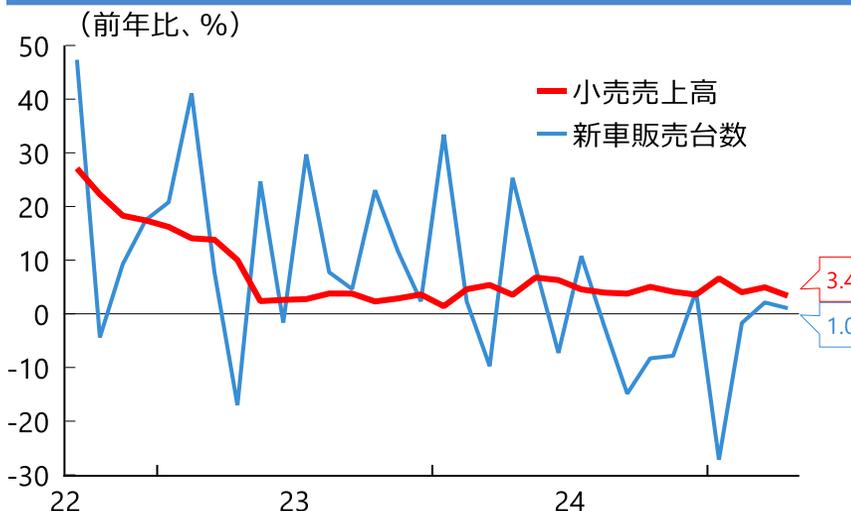
(注) 直近は5月。

### インフレ率と政策金利



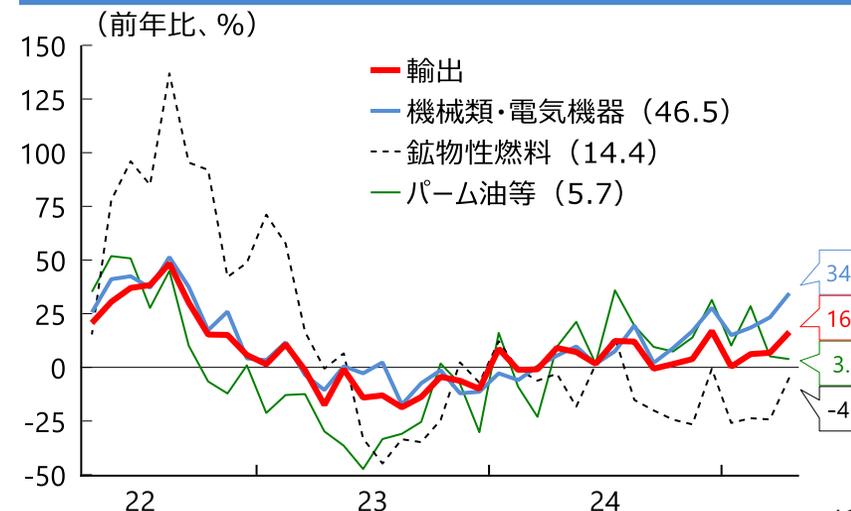
(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が4月。

### 国内消費



(注) 直近は4月。

### 輸出



(注) 直近は4月。現地通貨建ての輸出額。( )内は24年輸出額に占める割合。



# ベトナム

## ■ PMIは縮小ペースが鈍化

5月の製造業PMIは49.8と、前月(45.6)から縮小ペースが鈍化。生産指数が拡大に転じ、新規受注指数の縮小ペースが鈍化、ヘッドラインを押し上げた。

## ■ インフレ率はわずかに加速

4月の総合CPIは前年比+3.2%と、前月(同+3.1%)からわずかに伸びが加速。輸送費のマイナス寄与が縮小し、総合CPIを押し上げた。コアCPIも同+3.3%と、前月(同+3.1%)から伸びが加速している。

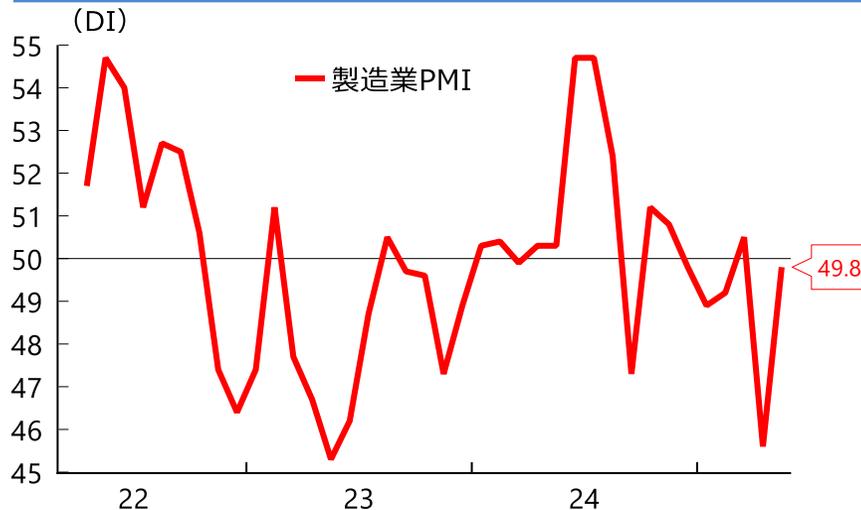
## ■ 消費は引き続き増加

4月の小売売上高は前年比+9.3%と、前月(同+9.8%)に続き増加。5月の当局予測値は同+10.2%と、増加ペースが加速する見通し。5月の新車販売台数は同+4.1%と引き続き増加。

## ■ 輸出は米国向けを中心に増加

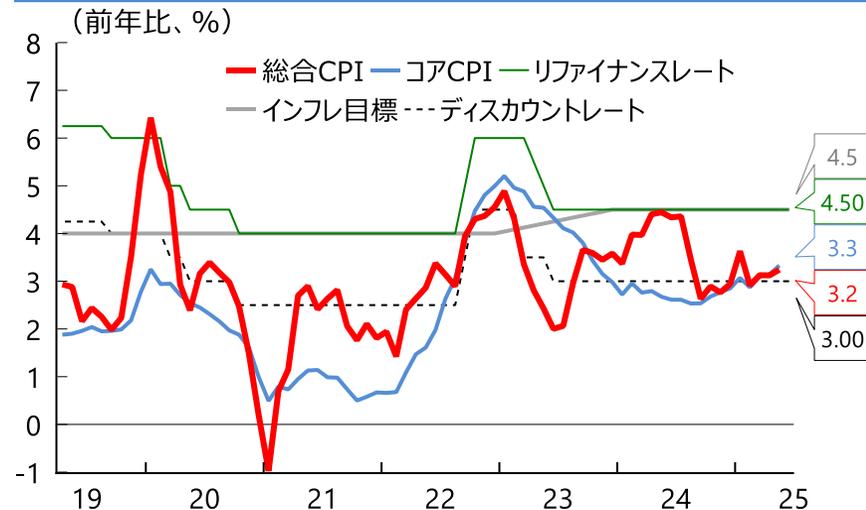
5月の輸出は前年比+28.2%と、前月(同+17.5%)から増加ペースが加速。コンピュータ・電子製品等の増加ペースが加速し、輸出を牽引した。仕向け地別では、米国向けが同+41.5%と大きく増加。米国の高関税の発動が7月上旬まで停止されたことで、駆け込み需要が発生したと見られる。

## PMI



(注) 直近は5月。

## インフレ率と政策金利



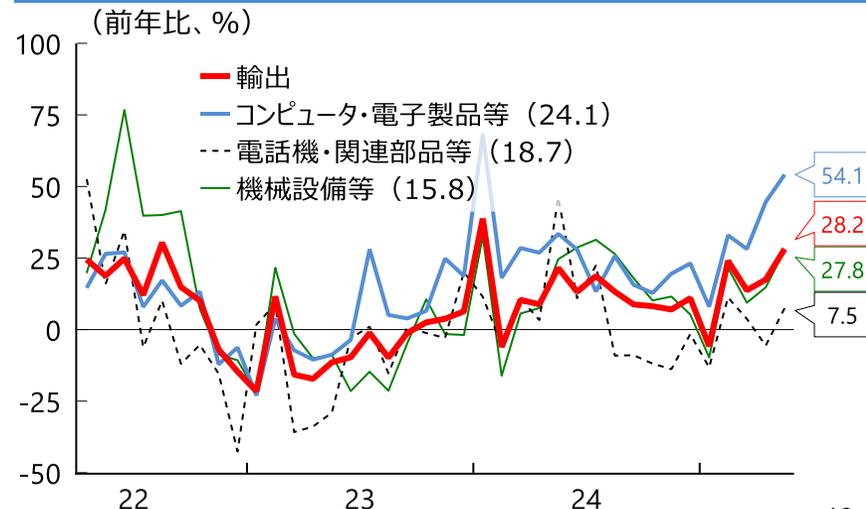
(注) 直近はリファイナンスレート、ディスカウントレートが6/17日、その他が5月。

## 国内消費



(注) 直近は5月。小売売上高の直近値は当局予測値。

## 輸出



(注) 直近は5月。米ドル建ての輸出額。( )内は24年輸出額に占める割合。



# オーストラリア

## ■ PMIは拡大ペースが鈍化

5月の総合PMIは50.5と、前月（51.0）から拡大ペースが鈍化。製造業PMIが51.0、サービス業PMIが50.6と、前月からそれぞれ鈍化した。製造業PMIは、生産指数が縮小に転じ、ヘッドラインを押し下げた。

## ■ インフレ率は横ばいで推移

4月の総合CPIは前年比+2.4%と、前月（同+2.4%）から横ばいで推移。コアCPIは同+2.8%と、幾分伸びが加速。

5月20日、RBAは利下げを決定（▲25bps、4.10%→3.85%）。利下げは市場予想通り。利下げの背景には、「インフレリスクのバランスがより均衡した。国際情勢が経済の重しとなることが予想されるため、インフレの上振れリスクは減少している」と、利下げ余地が生じたことを挙げた。先行きは慎重な姿勢を維持するとした。

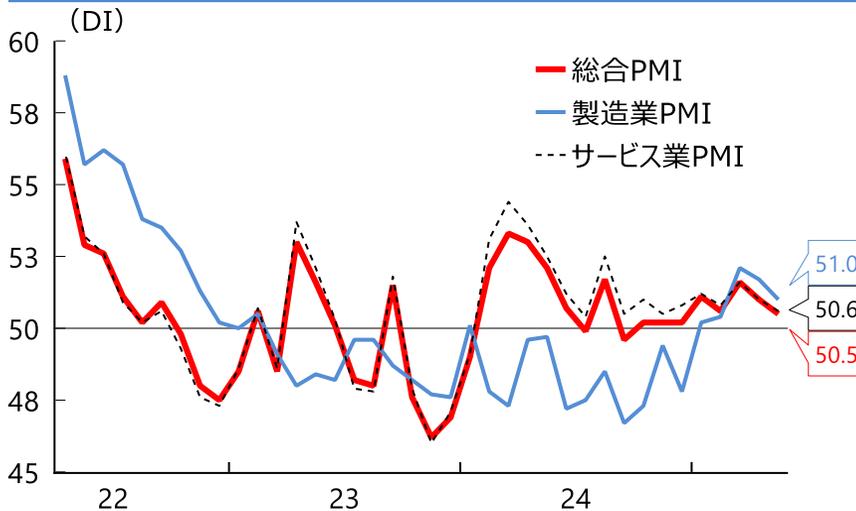
## ■ 消費は横ばいで推移

4月の実質小売売上高は横ばいで推移、住宅着工許可件数は前期比▲5.7%と、前月（同▲7.1%）に続き減少。

## ■ 輸出は前月から減少

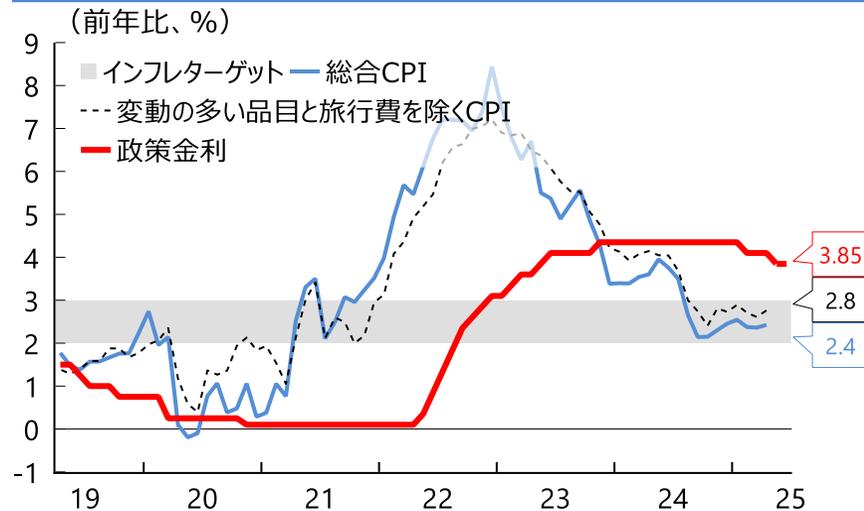
4月の輸出は前期比▲2.4%と、前月（同+7.2%）から減少。主要品目の鉱石・鉱物が同▲4.7%と減少した。

## PMI



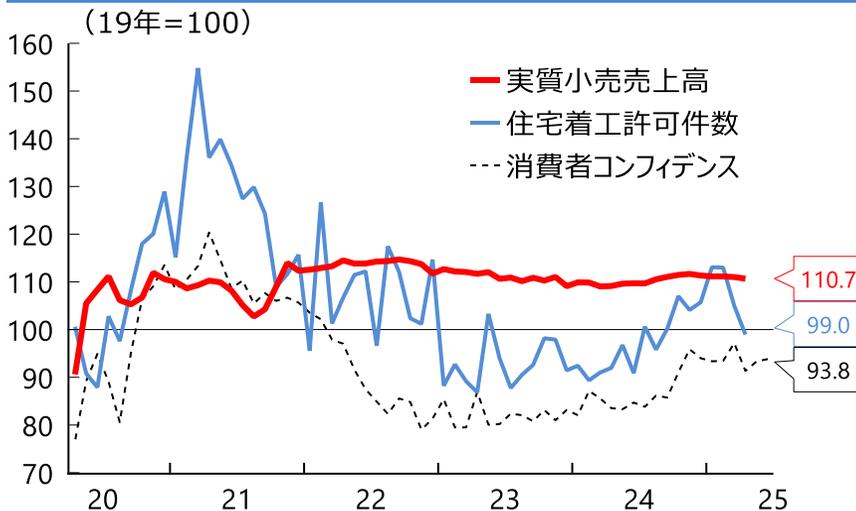
(注) 直近は5月。

## インフレ率と政策金利



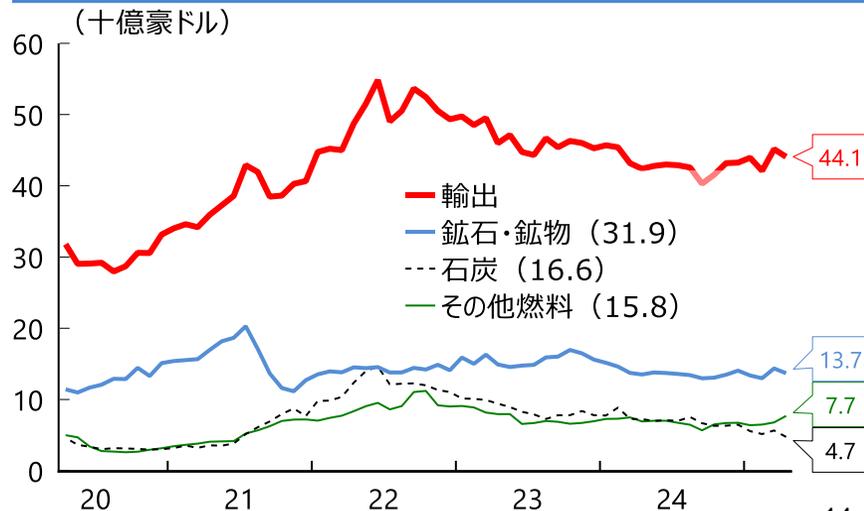
(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が4月。

## 消費と住宅投資



(注) 直近は消費者コンフィデンスが6月、その他が4月。SA系列。

## 輸出



(注) 直近は4月。SA系列。()内は24年輸出額に占める割合。



# ニュージーランド

## ■ PMIは縮小ペースが加速

5月の総合PMIは44.3と、前月（47.8）から縮小ペースが加速。製造業PMIは47.5と、前月（53.3）から縮小に転じた。

## ■ インフレ率は伸びが加速

25/1Qの総合CPIは、前年比+2.5%と、前期（同+2.2%）から伸びが加速。ガソリン価格の上昇が総合CPIを押し上げた。コアCPIは同+2.6%と、前期（同+3.0%）から伸びが鈍化。

5月28日、RBNZは利下げを決定（▲25bps、3.50%→3.25%）。利下げは市場予想通り。声明では、「インフレ率はインフレ目標の範囲内にあり、国内・国際情勢に適切に対応し、物価を維持する態勢を整えている」とした。

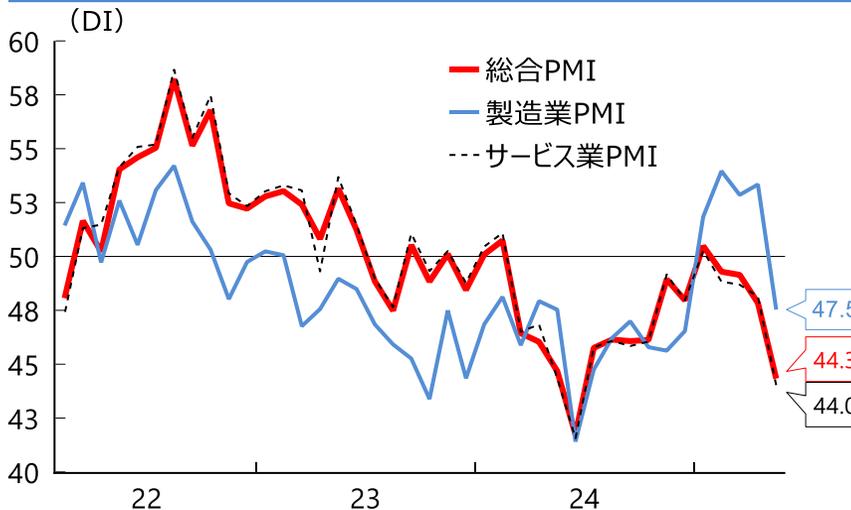
## ■ 消費は小幅に増加

25/1Qの実質小売売上高は前期比+0.8%と小幅に増加。5月のクレジットカード等取引は同+0.3%と、5か月ぶりに増加に転じた。

## ■ 輸出は増加

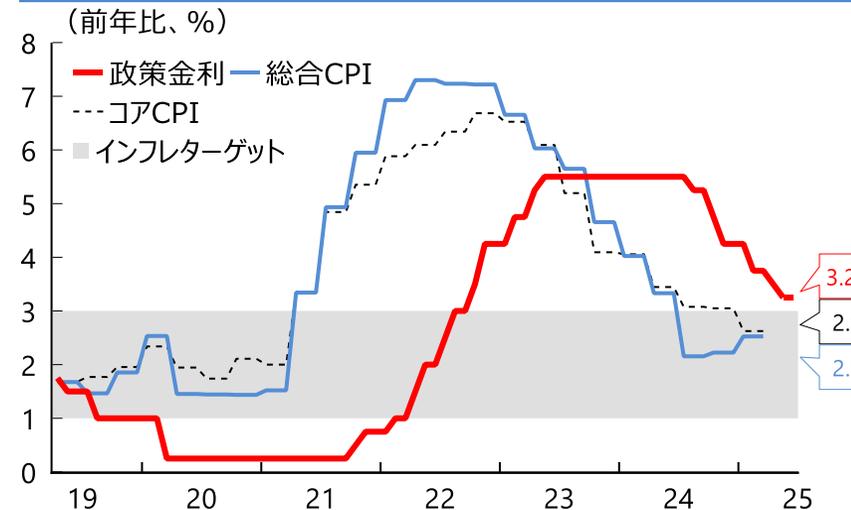
4月の輸出は前期比+4.2%と、前月（同▲1.1%）から再び増加。米国向けや中国向けを中心に増加し、輸出を牽引した。

## PMI



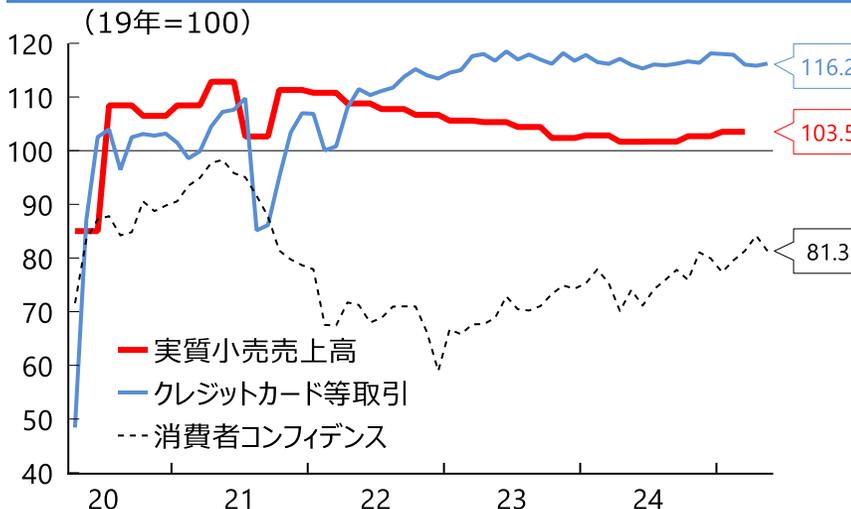
(注) 直近は5月。

## インフレ率と政策金利



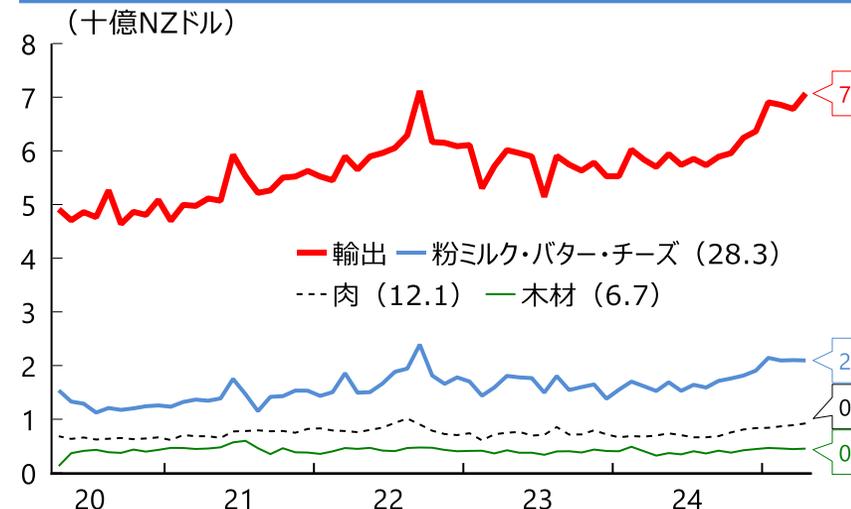
(注) 直近は政策金利が6/17日、その他が25/1Q。

## 消費



(注) 直近は小売売上高が25/1Q、その他が5月。SA系列。

## 輸出



(注) 直近は4月。SA系列。()内は24年輸出額に占める割合。